

2年生の皆さん&  
保護者の方へ



# 修学旅行に備えて……

## 保健だより特別便

2018.6

大阪府立茨木西高等学校 保健室



### 麻しん(はしか)輸出国から 輸入国となった日本



麻しん(はしか)は、20年以上前から利用されているワクチンが今でも有効であり、その上、安全性が共に非常にすぐれていることから、ワクチンの接種を徹底することによって、完全に流行をなくすることができる病気がなくなりました。

そのためWHOでは積極的にワクチン接種活動を行い、麻しん排除に取り組んできました。その努力の甲斐があって、今では、麻しんは先進国ではほとんど見られない病気となりました。

日本も、もちろん先進国です。にもかかわらず

**実は、つい最近まで、日本は「麻しん輸出国」として非難されていたのです。**

原因は 日本がずっと長い間、麻しんの予防接種を乳幼児期の1回しか実施してこなかったことにありました。

平成19・20年には、1回しか接種を受けてこなかった中学生、高校生、大学生の間で、麻しんが大流行し、その流行は日本だけにとどまらず、海外でも、日本から広まったと思われる麻しん発生例がたびたび見られることとなりました。その結果、日本には日本国民の健康を守るだけでなく、外国に対する、「麻しんの輸出国」にもならないよう、麻しん対策を強化することが求められたのです。



「麻しん排除」を宣言するためには

**麻しんワクチンを2回接種すること。**

**そして、その2回の接種率を共に95%以上にすること。** が必要です。

日本は「**2012年までに、麻しんを排除する!**」という目標を掲げ、乳幼児期に1回しか予防接種を受けていない人のために、**2008年から2012年までの5年間、無料で中学1年生と高校3年生を対象に麻しんの予防接種を実施**しました。

この定期接種の導入が功を奏し、ついに、2015年、WHOから、日本のはしかは「**排除状態**」にあると認定され、**麻しん輸出国**という、汚名を返上することができたのです。

ただ、「麻しん排除状態」というのは、国内由来の麻しん感染がなくなったということで、今後日本は、海外からの「**持込による麻しん発生**」に備えることが重要になってきました。昨年夏に関西空港で発生した麻しん感染はまだ記憶に新しく、さらに今年に入ってから沖縄で、台湾を経由して感染した麻しんの流行が報道されています。

**つまり日本は、新たに「麻しん輸入国」としてのスタートを切ったという訳です。**

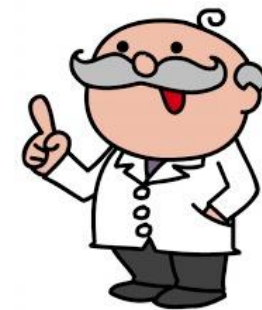
海外で、麻しんにかからないために、海外から麻しんを持ち込まないために、私たちにできること、それはやはり一人ひとりがきちんと2回の予防接種を受けることです。



予防接種が必要な人は、下記を「**除く**」すべての人です。

- ・麻しんにかかったことがある人。
- ・麻しんの予防接種をすでに2回受けている人。

思い当たる人は**11月の修学旅行に備えて、出来るだけ早い機会=遅くとも10月初旬までに**予防接種を受けることをお勧めします。



ここからは、予防接種を受けていない人のための

### 麻しん予防接種、Q&A

#### Q1. 予防接種の費用は…?

有料となりますが、市町村によっては、助成金が出る場合もあるようです。かかりつけの医院や、近くの病院、市役所などへ、お問い合わせください。予約が必要な場合がほとんどですので、接種前に必ずお問い合わせください。

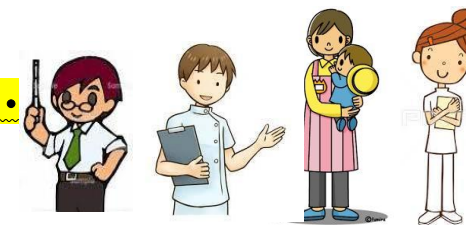
#### Q2. 就職や進学の際に予防接種歴は必要ですか…?

はい、必要な場合があります。

医療や、福祉、教育、保育関係の仕事に就く人には、

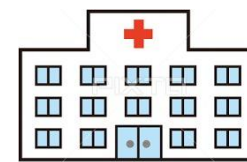
自分が感染源にならないよう麻しんに対する免疫を持っていることが求められます。

また、このような仕事に就くために必要な実習への参加の際には、麻しんに対する免疫を持っている(予防接種を受けている)ことが条件となることがありますので、2回の接種を済ませておくことをお勧めします。



#### Q3. 外国で麻しんになると大変って本当ですか? & 日本人が訪問先の外国で、麻しんを理由に帰国できなかったことがあるのですか?

はい、2007年、修学旅行でカナダ訪問中の日本人高校生一行131人のうち、生徒1人が麻しんを発症し、残りの130人のうち麻しんの抗体がなかった41名が帰国の飛行機への搭乗を断られ、カナダ政府の命令でバンクーバーのホテルに隔離されました。このように外国滞在中に麻しんにかかると、**本人だけでなく、一緒に行っている人も行動が制限されます。** 厳しいように思いますが、麻しんは大変感染力が強い病気です。飛行機に麻しん感染者が乗っていたらどうなるのでしょうか。同乗者が麻しんにかかるだけでなく、帰国したあと、自分の国に**麻しんを広めてしまう結果にもなりかねません。**



また現地で麻しんにかかった場合だけでなく、**出発前2週間以内に学校内で麻しんにかかった人が発生した場合でも、出国が制限**されます。

という訳で、皆さん方のなかで麻しん予防接種を2回受けていない人がいたら、今回の修学旅行のためだけではなく、将来の自分のためにもなるべく早く接種しておくようにしましょう。

**「世界へ羽ばたくのに必要なのは、英語だけじゃなかった…。」**

